

「一般国道5号 蘭越町 蘭越市街線形改良工事」の入札における住民参加の取り組み

取組の目的

- 公共工事入札における総合評価方式は地域住民にもメリットをもたらすことにつながるが、市民の総合評価に対する認知度はあまり高くはなく、必ずしも企業の努力が報われていない面が見られ、公共工事入札に対する市民の信頼感も必ずしも高まってははいない。
- これらの改善を図るためには、市民が公共工事入札の実態を正しく理解した上で市民も加えて冷静な議論をする必要があると考える。
- また、地方の中小企業が受注対象となる技術的工夫の余地が比較的小さい工事では、総合評価を行うに際して、透明性・公平性を確保した上で企業の信頼性をどのように評価するかが課題である。
- 本取り組みは、平成21年度の「一般国道230号喜茂別町喜茂別市街交差点工事」での実験に引き続いて行った住民参加入札の実験を通じ、住民参加入札がこれらの課題の改善に寄与する可能性について明らかにしようとするものである。

-1-

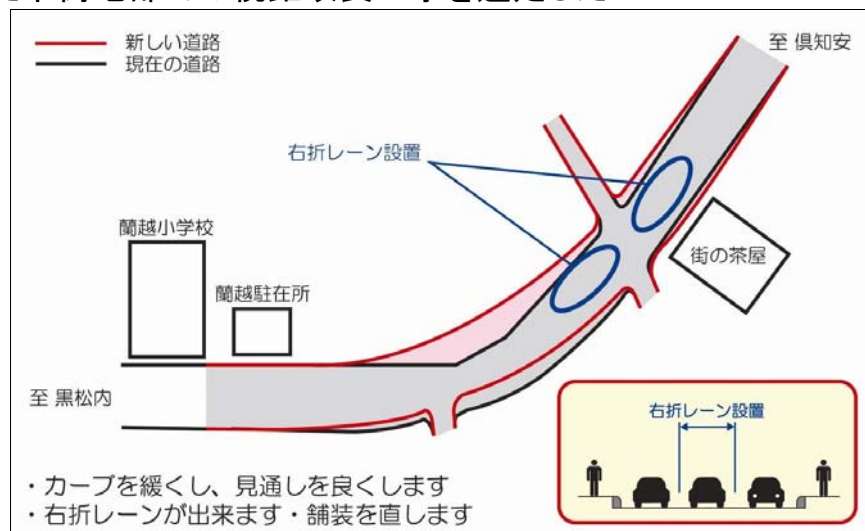
住民参加型入札の研究の経緯

時期	研究委員会の活動経緯
平成15年11月	<ul style="list-style-type: none"> 「第21回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会」が札幌で開催 建設産業の市民化を目指す「札幌宣言」を発表
平成18年2月	「北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会」において住民参加型入札を提唱
平成20年1月	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを介して入札制度に関わる住民意識調査を実施 北海道内在住の300人を対象 必ずしも安さのみ求めておらず、品質が重要と考えている 公共調達に対する不信感がある 公共調達の過程に市民が参加することに肯定的 など
平成20年11月	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加型入札の模擬入札を実施 模擬の工事(歩道設置工事)を設定し、研究委員会会員5社が模擬のプレゼンテーションを作成 一般市民である被験者によるプレゼンテーション評価を実施
平成21年6月	<ul style="list-style-type: none"> 小樽開発建設部発注の「一般国道230号喜茂別町喜茂別市街交差点工事」の入札において住民参加型入札の実験を実施 プレゼンテーションにより住民が施工業者に投票し、得票順位に応じて加算点を付与する総合評価方式によって落札者を決定
平成23年	「一般国道5号蘭越町蘭越市街線形改良工事」において、住民参加型入札第2弾を実施

-2-

「一般国道5号蘭越町蘭越市街線形改良工事」概要

住民が当事者意識を感じる工事として、交通安全を目的とした市街地部での視距改良工事を選定した



-3-

蘭越工事における住民参加入札手続き工程

蘭越町参加住民募集

3月15日(火)~4月21日(木)
町内全戸に募集ちらしを配付

入札公告開始

4月5日(火)~
4月21日申請書締切 10社が応募

参加住民への事前説明会

5月23日(月)

プレゼン参加資格の通知 (3社に絞り込み)

5月26日(木)
標準点+加算点(発注者評価[18]+施工体制評価点[30])
入札金額

簡易型技術提案

プレゼンの実施

6月4日(土)
プレゼンターマ
工事施工に当たっての沿道の安全対策について

住民が投票 1位→18点、2位・3位→票数の比例配分
標準点+加算点(発注者評価[18]+住民評価[18])+施工体制評価点[30]
入札金額

-4-

住民参加型入札の総合評価の方法

①発注者総合評価による絞り込み

- プレゼンによる住民の拘束時間を考慮し、プレゼン参加業者数を3社に絞り込んだ
- 簡易型総合評価により上位3社に通知

②3社によるプレゼンの実施

- 3社のプレゼンに対する住民の投票
- 投票結果を総合評価加算点に換算して評価値を計算
- 評価値第1位の会社に落札決定

⑤住民評価

- 住民は、次の評価シートでそれぞれ5段階評価を行い、3社のプレゼン終了後、1社を選んで投票
- プレゼン参加業者には評価シートを事前に通知

1	工事中の歩行者の安全に効果があったと思いましたが	「思わない」から「思う」まで5段階
2	工事中の自動車の安全に効果があったと思いましたが	「思わない」から「思う」まで5段階
3	工事中の自動車の円滑な交通に役立つと思いましたが	「思わない」から「思う」まで5段階
4	提案された内容は、良く工夫されていると感じましたか	「感じない」から「感じる」まで5段階
5	提案を聞いて、会社の技術力を感じましたか	「感じない」から「感じる」まで5段階
6	提案を聞いて、地域のことを良く理解していると感じましたか	「感じない」から「感じる」まで5段階
7	説明は分かりやすかったですか	「分かりにくい」から「分かりやすい」まで5段階
8	業者に信頼感を感じましたか	「感じない」から「感じる」まで5段階

③プレゼンテーマ

- 「工事施工に当たっての沿道の安全対策について」
- 今回は、プレゼン業者の負担軽減のため、テーマを絞って実施(前回の喜茂別ではプレゼンテーマ設定せず)
- 発注者評価の「施工上配慮すべき事項」では、このテーマを除く提案とした

④プレゼン実施手順

- 公平のため、喜茂別での改善意見を反映して、発表順をくじ引きで決めた
- プレゼン時間は各社20分(内質問5分)

⑥その他

- 住民のプレゼン3社に対する姻戚関係の有無を確認した(自己申告で、本人と3親等以内の血族に社員がいるかどうかなど)
- 3社の禁止事項等を以下の通りとした
 - ・発表にあたって入札金額は、公表しない
 - ・プレゼンテーション資料は、契約書の一部として提出
 - ・住民に対する便宜供与、若しくは便宜供与を連想させる発表をした場合は、その時点で発表を中止させる。
 - ・事前に地域住民と接することの禁止
 - ・参加者に対する金品等による寄付・買収行為の禁止。
 - ・プレゼン参加する企業として選定されたことは、プレゼンテーション当日まで、他言しない など

住民参加入札結果

会社名	発注者評価点(18点)		施工体制評価点	住民評価点(18点)	入札金額(億円)	評価点数	住民得票数
	施工計画	実績等					
A社	8.0	5.5	30		0.7170	200.1394	
B社	8.0	4.5	30		0.7244	196.7145	
C社	8.0	4.5	30		0.7280	195.7417	



B社	8.0	4.5	30	18	0.7244	221.5626	12
A社	8.0	5.5	30	12	0.7170	216.8758	8
C社	8.0	4.5	30	0	0.7280	195.7417	0

◎住民投票の結果、逆転でB社が落札

- A社とB社の投票数の順位は、項目別5段階評価の点数の順位とは逆転する結果となった
- 「⑥提案を聞いて、地域のことを良く理解していると感じましたか」の設問では、B社は群を抜いて高い評価を得ており、当該評価が投票結果に結びついたと考えられる。
- B社はプレゼンの中で登校の具体的な時間帯を示し、ダンプの出入りを行わないことや、低学年と高学年では下校時間が違うことをなどを示した上で具体的な誘導方法を説明するなど、地域事情の理解に立脚した配慮を示したことがこれらの評価につながったと考えられる。

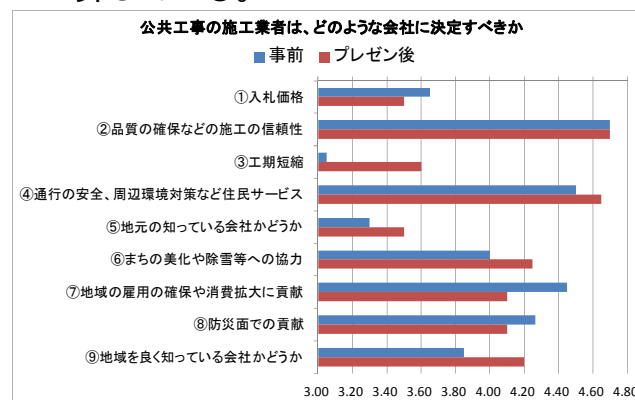


項目別の5段階評価による住民評価

住民が①～⑧の項目で各社を5段階評価した結果である全体としてA社の点数が高い。落札したB社は「地域精通度」が高い。

	A社		B社		C社	
	平均	順位	平均	順位	平均	順位
① 工事中の歩行者の安全に効果があると思われましたか	4.05	1	3.89	2	3.00	3
② 工事中の自動車の安全に効果があると思われましたか	3.90	1	3.65	2	3.00	3
③ 工事中の自動車の円滑な交通に役立つと思われましたか	3.75	1	3.58	2	2.95	3
④ 提案された内容は、良く工夫されていると感じましたか	3.65	2	3.70	1	2.70	3
⑤ 提案を聞いて、会社の技術力を感じましたか	3.65	1	3.60	2	2.95	3
⑥ 提案を聞いて、地域のことを良く理解していると感じましたか	3.75	2	4.25	1	2.45	3
⑦ 説明は分かりやすかったですか	4.05	1	3.85	2	2.85	3
⑧ 業者に信頼感を感じましたか	4.05	1	4.00	2	3.05	3

- プレゼン前後の業者選定の重要度に関するアンケート結果であるが、「品質確保」、「通行の安全・環境対策」は事前・事後とも高い重要度を示している。
- 事前では「雇用、消費拡大」が高かったが、プレゼン後では、「美化、除雪協力」、「地域精通度」の重要度の評価が上昇している。



入札金額開示後の投票の変化について

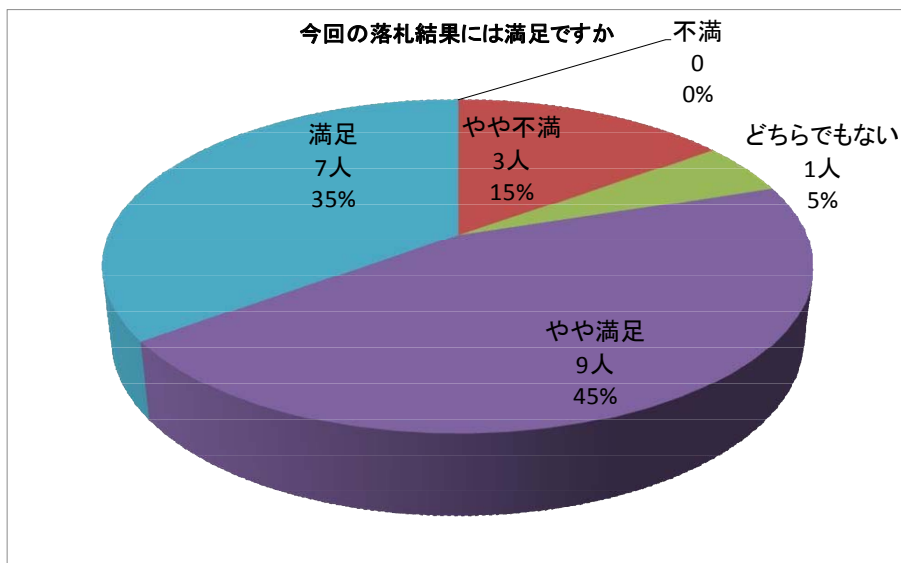
- プレゼン時点では住民には各社の入札金額は示しておらず、各社からのプレゼンだけで投票を行かせたが各社の入札金額を見た後にどのように意思が変化するかをアンケートしたものが下表である。

プレゼン後		金額開示後	
A社	8人	A社	6人
		B社	1人
		無回答	1人
B社	12人	A社	5人
		B社	5人
		無回答	2人
計		A社	11人
		B社	6人
		無回答	3人

-13-

- B社とA社の入札価格差は74万円だったが、金額開示後のアンケートでは、B社からA社に投票先を変えたのが5人に上った。
- プレゼン内容の優劣は僅かであり、金額がより安い方が良いと感じた住民が多かったと考えられる。
- 今回の実験では、住民個人は必ず業者間の優劣を付けて1社を選ぶという投票を採用し、また、得票数に応じて加算点数の差がつきやすい1位満点比例配分方式を採用したが、提案内容の優劣の差以上に得点差が大きく現れる可能性がある。
- 今回は業者の負担を考えてプレゼン内容のテーマの絞り込みを行ったが、住民参加型入札全般に関する主な自由意見の中では「提案内容が安全関係のみでは差がつきにくい」という意見もあった。
- その一方で、今回の落札結果に対する満足度は高く、「満足」と「やや満足」を合わせると8割となった。

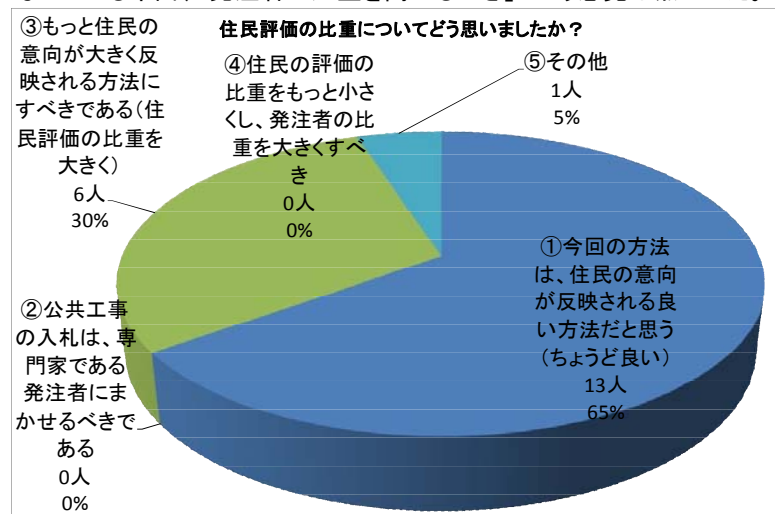
-14-



-15-

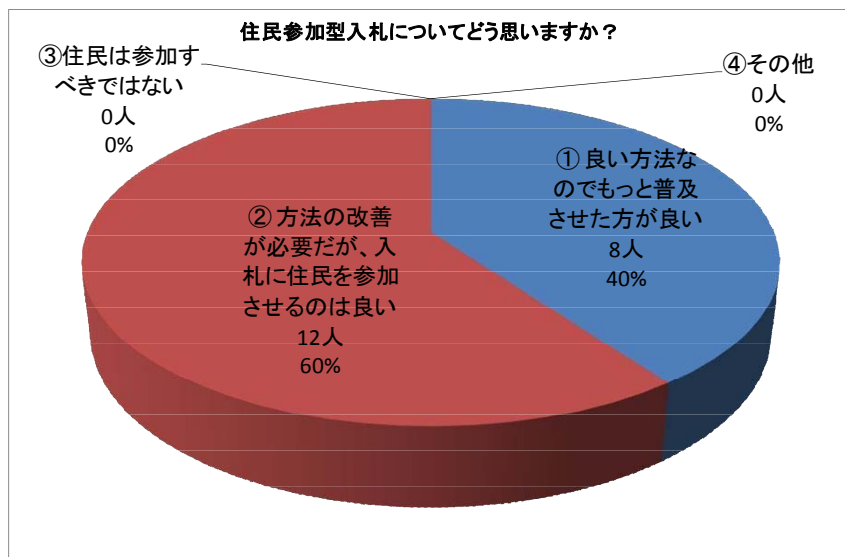
住民参加型入札に参加した感想について

今回の住民評価の比重について聞いた結果では、「ちょうど良い」とする意見が65%と多かったが、「住民の意向をより高く反映させた方が良い」との意見が30%となっている半面、「発注者の比重を高めるべき」という意見は無かった。



-16-

- 住民参加型入札についてどう思うかの設問では、40%が「良い方法なのでもっと普及させた方が良い」、60%が「方法の改善が必要だが、入札に住民を参加させるのは良い」と答えており、概ね住民参加型入札に肯定的な結果となった。



-17-

参加住民からの全体を通じた自由意見

- どの業者もいまひとつ、という場合でも1社選択しなくてはならないことに苦しさがあった。
- 提案内容が安全関係のみでは差が付きにくいし、一般の人には短時間では理解しきれないと思います。その会社が施工することによる地域への具体的なメリットを提案するほうがよいと思います。
- 評価人の中立性はもっと調査すべき事項と思います。経験が浅くても、高い技術力を持った業者が入札しやすくなるようにしてほしいです。
- 発注者の評価基準(内容)を知りたい
- 住民参加型総合評価プレゼンテーションについての試行は良い案だと思う。予定金額、落札率等を知らせていただきたい。
- 共通の質問事項があると、より判断の基準材料となると思う。

-18-

- 各社の特徴や工事に対する姿勢を知ることができた。住民に工事内容を知らせることによって、社側にも緊張を持って工事の工夫や地域に対する貢献度も高まるものと思うので、住民参加型の入札制度は継続したほうが良い。事前に住民の意見が反映できるようなシステム化ができればよいと思う。
- 今回の参加者について、何らかの形で増やすことはできなかったのでしょうか。30名弱の人数では少なすぎると思います。
- 今回のプレゼンは業者のほうが住民側にとってとても良いものだと思います。安全性についてはどの業者も当たり前のことだと思います。プレゼンに参加した私たちも、業者の悪いところを探すのではなく、協力しあい、良い仕事をしていただくことだと思います。今回参加し、私たちの選んだ業者の仕事を見せてもらい、次に活かせるように、またプレゼンに参加したいと思います。
- 今後も工事の大小にかかわらず、このような住民参加型を続けてほしい。
- もっと住民に入札についての正確な説明を伝えていったほうが良いと思う。

-19-

まとめ

- 住民アンケート結果からは住民参加型入札について普及を求める意見は多く、公共工事入札の不透明感改善を期待されている
- 必ずしも、自分の意見が結果に反映されなかった場合でも、住民参加型入札結果に対する満足度は高いという結果となった
- その一方で、発注者の評価の比重を高めるといった意見は無く、発注者評価の信頼感の向上には至っていない
- また、プレゼンのテーマ設定や加点方法、参加住民の人数・中立性の担保などといった課題も残る結果となった
- 当該工事については、現在施工中であるが、今後、住民参加型入札で施工業者を決定したことに対する、施工上の効果などについて、住民にアンケートを行う予定としている
- 住民に身近で工夫の余地の小さい工事という前提で、総合評価方式のオプションとしての住民参加の可能性は十分にあり、引き続き、今回の実験結果を踏まえた研究を進める必要があると考える

-20-